

筑波學生新聞

ひとのめ10



フィリピン探訪記

第一回 フィリピンの素顔

政治・經濟

本紙は三回の
を紹介してい
関心をもつて
と題し、フイ
ピンがここに
も、是非御一

六分以下で下回る。縮減されるよう成果を上げたとされる。こうした数字が裏付けられるよう、フィリピンは勢いのある国である日本企業もフィリピン勢いに注目するようだ。我々が訪問したバーテン・サービスと地域で既に日本企業が進出しており、新たにフィリピン港を計画している日本企業十数社あるといふ。一方、海外へ出稼ぎの人も多い。その中で、

現け
ので、ヨーロッパセントーの中に、映画館があり、カラフルな色彩の絵が描かれた看板も人の目をひいている。我々が訪れたフィリピン大学内にも映画館が建つていて、それほど映画というものは身近な存在であるのだ。

娛
樂

高い経済成長率、勤勉な学生たち — 発展する社会のなかで —

交通

アンケートの内容と今後アンケートの内容は大きき、分けた、「じめの実験に囲むものと「いじめられた全般的な見方についてあるが、この問題に対する解決策で、高校生時代のものはなかった。」の内容は「無視」のアンケート用紙四百五十九枚学生回答のドアに張つて、回食袋アドバイスをして貰つて、心から共用箇所のベーカリーボックスにあった。男女差はあるみだらうかのいふべきである方法で回収した。金回収額は「十六」。このわれた自殺事件は、最近のもので学生の回収率は、ようくに話題になる前からある。四%（配布額五百五十）、「なたの近鄰であつましたが」女子学生（回収額一百二十円）で「四人が」「つづる（市長改二町）」

「授業終後は勉強しないでいい」と教える。「授業終後は勉強しないでいい」と教える。「授業終後は勉強しないでいい」と教える。アルバイトをして、フリーランスで大学院で時間などの制限を設けている。「学生の本分は勉強である」というのが、やや理由である。日本の文化には甚だ耳が痛いといふべきである。日本では、このように動軽な態度で教育課程を終了した人が、わざわざ、すべての人が就職活動ではない。何よりも就職活動をするのが、ここに沿うて就職活動をするのが、ここに沿うて就職活動をするのが、心地よいことがわかる。

女
性

學問

アカムツ

**WORLD BUYER'S SYSTEM
BY RIGHT-ON**

世界のカジュアルを、
日本のベーシックにする

まだ見ぬ、世界のカジュアルアイテムと出会いたい。
ライトオンの「ワールド・バイヤーズ・システム」はこうした思いからスタートしました。
そして、数々のブランドと手をつなぎ、日本初登場のアイテムを次々に発表しました。
同時に、いままで培ってきた確かな経験をベースに
オリジナルブランドの開発という長年の夢も実現しました。
基礎はすでに固まった。流行を追わず、流行を生むこと。

Right-on JEANS AND CASUAL

